

第2回 深川市議会 「議会報告会」報告書

見よう！聴こう！！話そう！！



平成 30 年 6 月
深川市議会
議会報告会実行委員会

議会報告会「はじめに」

深川市議会では、平成 28 年 3 月、議会改革特別委員会を設置し、様々な視点から議会改革に取り組んでおります。

市民に開かれた議会を目指し、情報発信について協議を進め、第 3 回定例会における本会議のインターネット配信の開始や、議会だよりの充実に向けた検討を広報編集委員会に付託し、今年 5 月発行から大幅にリニューアルした議会だよりの全戸配布の実施、また、政務活動費の実績に応じた後払い方式の導入などを進めてきました。

そうした市民に開かれた議会を目指す中で、議会の運営状況並びに審議内容とその結果について、市民に直接報告し、市政に関するご意見、ご提言等をお聞きするため、昨年 6 月 1 日に、第 1 回議会報告会を開催し、その後、深川商工会議所と「JR 留萌本線と深川駅について」、深川市農業関係団体と「農業基盤確保と農業の担い手対策」をテーマに意見交換会を行いました。

さらに今年 2 月には、深川市内の諸団体の代表者に参加いただき、「議員定数等に関する意見交換会」を実施したところであります。

毎回、多くの貴重なご意見、ご提言をいただきまして、議会運営及び議員活動の参考にさせていただいております。

今回は、第 2 回目となる議会報告会を 57 名の市民の皆様に参加していただきました。

昨年の議会報告会でのアンケート結果や、その反省点を踏まえ、議会報告会と合わせて議会改革に関する意見交換会の機会を設け、議会運営、議員定数に関してのご質問、ご意見をいただきましたので、今後、議会内で整理させていただきたいと思います。

この度の議会報告会にご参加いただいた皆様をはじめ、案内ポスターの掲示等、多くの皆様にご協力いただき深く感謝申し上げます。



議会報告会実行委員会

実行委員長 鶴岡 恵司

．．．．．議会報告会 次第．．．．．

1. 開会

2. 議員紹介

3. 開会挨拶 深川市議会議長 長野 勉

4. 議会報告

① 総務文教常任委員会報告

② 社会民生常任委員会報告

③ 経済建設常任委員会報告

④ 予算審査特別委員会報告

質疑

5. 意見交換 テーマ「議会改革の取り組みについて」

議会改革特別委員会

6. アンケート用紙記入

7. 閉会挨拶

8. 閉会



第2回深川市議会 議会報告会 開催概要

○目的

市民に開かれた議会となるよう、議会の運営状況並びに審議内容とその結果について、市民に直接報告し、市政に関する意見、提言等を聴取するため議会報告会を開催するもの。

○サブタイトル 『見よう! 聴こう!! 話そう!!!』

○実施主体

深川市議会（深川市議会議会報告会実行委員会）

○開催日時

平成30年6月4日（月） 午後6時から

○開催場所

深川市中央公民館

○参加人数

参加人数：76人（議員16人、議会事務局3人含む）

○報告事項

総務文教常任委員会報告

社会民生常任委員会報告

経済建設常任委員会報告

予算審査特別委員会報告

（当日参加者へ配布した資料は、深川市議会のしくみとしごと・議会だよりです。別途ホームページに掲載しています）

○意見交換 テーマ 『議会改革の取り組みについて』



【開会挨拶】

深川市議会議長 長野 勉

深川市議会議会報告会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、お仕事等でお疲れのところ、また、夕刻の家族団らんのお時間に、議会報告会に多数ご来場いただきまして、心より感謝を申し上げます。

また、日頃から議会並びに議員活動に対しまして、ご指導、ご支援いただいておりますことに、合わせまして敬意と感謝を申し上げます。

本日開催させていただきます議会報告会につきましては、昨年6月に深川市議会として、初めて開催させていただきました。その時にアンケートにもお答えいただき、そのご意見、ご要望を検討させていただいた中で、今年も再度、2回目の開催ということになった次第でございます。

私たち議員は平成27年6月からこの任期の議席を与えられまして、早くも3年が経過を致しまして、残すところあと1年という任期でございます。

この3年間では議会改革をテーマに特別委員会を設置し、積極的に議論を重ねて参りました。既にこの議会報告会や各団体との意見交換会の実施、また、本会議のインターネット配信、さらには政務活動費の支出に対する後払い方式の導入、また、災害時における議員のあるべき行動について、マニュアルや規範を作成した次第でございます。

さらには、後ほどご報告もごさいますけれども、議員定数の検討もさせていただいており、来年6月までの与えられた任期の中で、可能な議論によりその方向性を定めるべく進めている次第でございます。

本日の報告会の中でも、その経過を申し上げますけれども、私どもの日頃の活動の一端を感じ取っていただければ誠に幸いです。

またさらには、ご意見をいただく中で、議会の活性化、市民の皆様により身近な議会となりますよう、努力を重ねて参ります。



本日ご出席いただきました皆様に心より厚く感謝を申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。どうか宜しく願い申し上げます。

深川市議会

議長 長野 勉

【常任委員会報告】

報告① 総務文教常任委員会

平成 30 年第 1 回定例会において審議された議案についての内容と、審議内における主な質疑と答弁について報告を行った。

- ① 深川市職員給与条例の一部を改正する条例について
- ② 深川市税条例等の一部を改正する条例について
- ③ 深川市議会の議決すべき事件に関する条例について



報告② 社会民生常任委員会

平成 30 年第 1 回定例会において審議された議案についての内容と、審議内における主な質疑と答弁について報告を行った。

- ① 深川市介護保険条例の一部を改正する条例について

報告③ 経済建設常任委員会

平成 30 年第 1 回定例会と平成 29 年第 4 回定例会において審議された議案についての内容と、審議内における主な質疑と答弁について報告を行った。

① 深川市都市公園条例の一部を改正する条例について

② 深川市墓地条例について（平成 29 年第 4 回定例会）

【特別委員会報告】

報告④ 予算審査特別委員会

平成 30 年第 1 回定例会において審議された各会計の予算額と新規事業と重点事業における主な質疑と答弁について報告を行った。

① 平成 30 年度深川市各会計予算について

・一般会計

・特別会計 介護保険特別会計

国民健康保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

農業集落排水事業特別会計

下水道事業特別会計

・企業会計 水道事業会計

病院事業会計

② 質疑のあった事業の紹介（抜粋）質疑数 118 件

・深川農業ステップアップ推進事業[予算額 1,000 万円]

・「学びと集いの郷」きたそらちホスピタリティプロジェクト
[予算額 3,200 万円]

<参考>

(単位：千円)

会 計 別		H30 予算額 (当初)	H29 予算額 (当初)	増 減 額
一 般 会 計		15,913,000	17,625,000	△1,712,000
特別会計	介護保険	2,451,000	2,400,000	51,000
	国民健康保険	3,085,000	3,684,000	△599,000
	後期高齢者医療	380,900	368,300	12,600
	農業集落排水	237,600	267,400	△29,800
	下水道	744,700	866,500	△121,800
企業会計	水道	798,600	812,600	△14,000
	病院	5,145,677	5,214,861	△83,184
合 計		28,756,477	31,238,661	△2,482,184

【意見交換】



テーマ「議会改革の取り組みについて」

○質疑・意見交換（概要抜粋）

質問:議員定数の削減の理由は、主に人口が減ってきているとの話だが、それ以外の理由はないのか。また、市民の声をどうやって聞いたのか。

ある程度の代表の話を聞いて市民の意見という形にしているが、それで本当に市民の声を汲み取ったという形になるのか。

答え:この12年間で人口が4,500人減っています。また平成17年の国勢調査と平成27年の国勢調査では10年間で深川の人口が4,000人で減っています。その中で、生産年齢人口（15歳から65歳まで）は4,000人中3,800人が減っています。人口が減ると、市の財政の地方交付税も減りますし、地域全体の経済力が減る中で、市議会議員16人がそのままで良いということにはならないと考えました。

なお、議員定数の意見交換会の参加団体に関しては色々検討させていただき、

参加いただいた 10 名は、女性や年齢の若い人から年配の方まで、幅広い意見を聞かせていただきました。



質問:平成 26 年第 4 回定例会において、議員定数の削減についての議論の中で、議員削減に反対した理由の中に、「人口減は議員定数を考える一つの指標に過ぎず、議員定数を考えるにあたっては地理的要因や地域性などを加味するべきである。議員数を削減した場合、多くの意見を取り入

れ、より良い政策をつくっていくことが困難となる」とあり、今回人口減だけで削減するのはおかしいのではないのか。

答え:協議の中で、地理的な問題であるとか、若い人から年配者まで議会に参画できるよう、ある程度の議員定数が必要ではないかという意見もありました。

色々議論した中で、最終的に 4,500 人の人口が減るということは、北空知の大きな町が一つ無くなるぐらいの大きなものがありますから、その影響力は極めて大きいと判断いたしました。

質問:議員削減はまだ早いと思う。市民の声を聞いたという話があったが、団体・企業の方が集まって話ただけじゃないのか。はがきを出して意見を聞くという案もあったみたいだが、もっと市民の意見を聞いたほうが良かったのではないか。人口は減るけれども面積は変わらないし、住んでいるまちが消滅する訳でもなく、その人たちをフォローして意見を聞いていくとなれば、議員の定数を減らすというのは、まだ早いのではというのが私の意見です。

答え:ご意見として伺っておきます。

質問:昨年 の 第 3 回定例会で議員削減を決めているような話しですが、3 月 20 日の定例会で議員を削減しますという形で進んでいる。進んでいることであれば、一生懸命意見を出したいなと思ってやっているけれど、削減の結果ありきでやられているのか。

答え:昨年 の 9 月 の 段階で、議員定数の削減を決めていたということはありません。

質問:今年 の 3 月 20 日 の 議会運営委員会 の ときに、6 月 定例会に議員削減の議案を提出すると決めていたのか。

答え:この議員定数削減等の条例改正案を、6 月 の 定例会に提案するということは、3 月 20 日 の 議会改革特別委員会の中で決めています。

ご意見:今の話の中で、大変誤解を招くような話になっている。

2月の「議員定数に関する意見交換会」は、企業だとかそういうものではなく、各諸団体とっているわけです。私も町内会に関係しており、町内会の方々、町内会長の集まりの中からも、議員定数を減らすべきだ、なぜなら深川市の予算等がだんだん減ってきている、住民が少なくなれば住民税が減る。その中でも深川市の維持管理が大変難しい中、なぜ数多くの議員の中でこうやって維持していかなければならないのか、そういう意見等も出ております。また、深川市職員も大変努力していろいろな形で予算削減しております。それに他の諸団体もいろいろな経費削減をしております。その中でやはり、深川市議会議員という形をもう一度考慮していただいた中で、運営していく方法がないのか、そういった形の中でのニュアンスの意見交換会だったと考えております。

議員報酬の意見もございました。これはまだ決定しておらず、これから審議いただくことかなと考えております。ですから、議員定数がそのまま現状維持では、これは大きな誤解を招くのかなと。再度、やはり議員の方々には、議会において討議していただきたいと考えますのでよろしくお願いいたします。



質問:私は農業をやっており、米・麦・大豆を中心に作付けしています。日ごろからの農業予算には感謝しています。一つ心配なことがあって話しますが、4月に稲・麦・大豆の種を守る種子法というのが廃止されてしましまして、いろいろ議論していただいたのですが、廃止になって私の周りでも皆さん心配しています。その中で、北海

道の情報も少しありましたけれど、全国では県独自で条例をつくって種を守っていこうという県も出てきておまして、北海道もそういう動きになれば良いなという話しも周りからも出てきております。いろいろな情報が聞こえてきて皆さん心配しております。農業をしている先輩の議員さんもありますので、どんな感じなのかお聞かせください。

答え:種子法に関する考え方はどうかという質問だったと思います。議会としての意見書の取りまとめをしている立場から経過について説明申し上げます。本年3月の第1回定例会でも種子法の北海道の条例について検討してはどうかという意見・議論もございました。あくまで経過としてご説明申し上げますと、当時北海道議会で、ちょうど高橋知事が今年度の種子をめぐる北海道予算は従来どおり付けろという議論がございました。

もう一点は、北海道として種子をしっかり守っていかなければならないので、どういう枠組みで担保していくのか、要綱・要領でつくっていくのか、もしくは条例をもって北海道としてやっていくのか、北海道の議会では議論が始まったばかりでした。そこで深川市議会として意見書の扱いですが、3月の段階ではまだそちらの情報が、しっかりと見えてきていなかったもので、いずれにしろ平成31年度予算確保に向けての議論ということになりますから、北海道の議論、あるいは全国的議論も見据えた上で、深川市議会としての意見書もしくは意見表明のタイミングを見ながら議論していこうというように、意見書に対しては議論した経過がございます。



質問:議会運営委員会では無会派の議員は委員外議員、オブザーバーとしての扱いになっているが、無会派であっても、表決権など同じ権限や扱いが必要だと思いますが、現状をこれから変えていく考えはあるのか。

答え:深川市の議会、若しくは委員会というのは、深川市議会委員会

会条例第4条に議会運営委員会の設置というのがあり、この中で、委員会の議員定数は5人とする定められており、私どもは5人の定数を持って委員会を設置しております。

併せて、これまでの申し合わせ事項に基づき各会派とも委員を選任して、議長の指名をもって委員会は成り立っております。

もう一点、誤解があるようですけれども、無会派の方の参加ですが、委員外議員として、常に委員長の認めることによって出席をいただいています。議決というのは当然定数5人の委員の中で決める。これは決まりですから、委員会としての議決事項となっています。

しかし、発言に関しては委員長の下でも整理させていただいておりますし、委員会の中身の報告についても、その都度、委員会終了後に出席されていない方にも委員長が出向いて説明しております。

質問:議会運営委員会のオブザーバーには、表決権や討論は自分からではなくて議長（委員長）から指名されないと発言できないという形であれば、活発な議会運営という形を考えるのであれば、オブザーバーという形は無くして一人の議員としてやっていったほうが良いと思います。議会運営委員会のオブザーバーを外すという考えは無いのでしょうか。

申し合わせ事項の中でオブザーバーという形を決めているのであれば、それを撤廃して、無会派議員も議会運営委員会の方に参加し、いろいろ発言したり表決権を持ったりしたら、活発になって良いと思うがいかがか。

答え:委員会の定数というのは、議会それぞれが条例で定めることになっています。総務文教常任委員会・社会民生常任委員会・経済建設常任委員会もあり、議会運営委員会も条例で定数が定まっております。

議員それぞれの方でも平等で、権利も同じです。議場での発言も担保されています。

ただ、委員会というのはそれぞれ定数を定めて物事を決めております。委員会で決めたことは議場にかかりますので、どの議員の方も発言・議論に参加することは当然ながら担保されております。

委員会の運営ということの説明ですのでご理解賜りたいと思います。



アンケート結果（参加者 57 人中 47 人の方から回答頂きました）

～アンケートの項目別に下のグラフをご覧ください～

問1 あなたの年齢は（10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上）

問2 あなたの性別は（男性・女性）

問3 あなたのお仕事は【学生（中学・高校・大学・専門学校）・勤労者・自営業・その他_____】

問4 各委員会の報告内容については

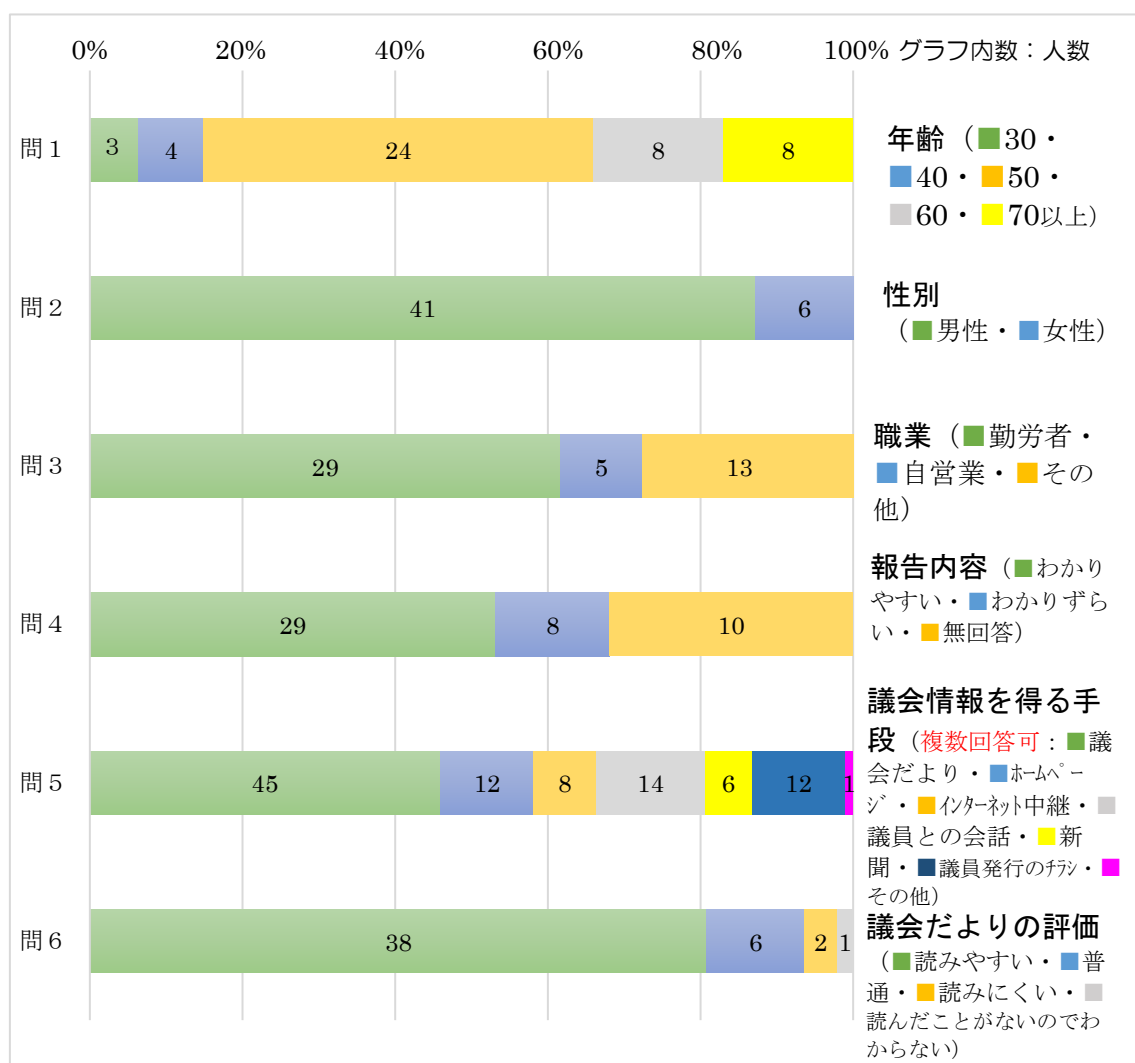
（わかりやすい・わかりにくい ⇨ _____）

問5 議会の活動情報をどのように把握されていますか（複数回答可）

・議会だより ・ホームページ ・インターネット中継 ・議員との会話 ・新聞
・議員発行のチラシ ・その他（_____）

問6 リニューアルした議会だよりの内容について伺います

（読みやすい・普通・読みにくい・読んだことがないのでわからない）



解説:

- ・参加者の中心は50代で60代70代と続きます。男女比では男性が8割でした。
- ・職業は勤労者が6割を占めています。
- ・委員会の報告では約半数の方が「わかりやすい」との回答でしたが、一方で「内容が把握しづらい」「要点を工夫して」とのご意見をいただきました。
- ・議会の情報を得るトップは「議会だより」次いで「議員との会話」「議員発行のチラシ」「市のホームページ」の順でした。
- ・議員自ら編集する「議会だより」は8割の方から「読みやすい」との評価をいただきました。また「多色での印刷は視力が低下した高齢者に不向き」とのご指摘もありました。



アンケート自由記入欄

「本日のテーマ(3月議会報告と議会改革)について

- 定数削減は必要だが、議会改革のほうが重要だと思う
- もう少し努力が欲しい、そのための工夫を
- 具体的な説明が必要
- (今年の)一回目より格段に良かった
- (議会報告と議会改革)テーマを絞って
- 議員定数は広く市民の意見を聞くべき
- 市民が市議会・市政に関心を持つよう互いに努力が必要
- 議会改革の取り組みについてわかりやすかった
- 議員が一堂に会しこのような機会を持つことは良いことだと思う
- 議員定数のテーマは良い機会であった～同様の意見2件
- 議員定数削減は賛成ですが賛同が広がるよう丁寧な説明が必要だと思います
- 話の内容や出てくる言葉が(一般の方には)難しいように感じました
- 議員定数2名減が最大なのか
- 人口減少なので議員削減は当然だが、地域に偏りが生じないようにすべき



「議員に聞いてみたいこと・知りたいこと」

- 深川の将来像とプロセス、そして具体的方法をもっと知りたい
- 一般質問の内容をもう少し早く知ることができたら関心が高まると思う
- 行政視察の目的地はどのように決めているのですか。議員報酬で活動する経費は賄えるのですか
- 支援をいただいている方の所には何回訪問していますか
- 何を行えば深川をよくできると考えていますか
- 議会運営について議員同士の協議を充分に行うべき。問題の発生は残念である
- 議員として市民の中にもっと入ってほしい
- 高校生や大学生、青年会議所や農村青年部など、若い方々との懇談を開いては
- 議員のなり手不足や地方議会の役割を話し合ってはいかがでしょうか

「その他」

- 議員さんは自信をもっともっと大きな声で話してほしい。
- 質問が出るような報告・運営をしてほしい～同様の意見 2 件
- 会場設営の工夫（机・お茶等）が必要ではないか～同様の意見 1 件



第2回「議会報告会」の閉会の挨拶

議会報告会では、前段、開会挨拶時に長野議長より話がありましたように、昨年6月に第1回の議会報告会を開催し、そのときのご意見の中で、非常に意見を求める場が少ないというようなご指摘もございまして、今回の開催にあたりましては、議会報告会に全体時間の半分、そして意見交換に半分の時間を設定して進めてまいりました。

おかげさまで持ちまして、非常に熱心にご意見を交わしていただいたことに厚くお礼を申し上げます。

議会の改革につきましては、それぞれの方からお話がありましたように、深川市議会として、市民の皆様の求める議会になっていくため、今後も努力してまいりたいと思います。本日は誠にありがとうございました。



議会報告会実行委員会

副委員長 太田 幸一

議会報告会実行委員会 役割分担

司会進行	鶴岡実行委員長 太田副委員長
報告者	小田総務文教常任委員会委員長 田中社会民生常任委員会委員長 宮澤経済建設常任委員会委員長 近沢予算審査特別委員会委員長
文書記録	佐々木議員 木根議員 松本議員
撮 影	和田議員
受 付	水上副議長 楠議員
事前準備	辻本議員 菅原議員 松原議員